

実施日：5月19日（6校時）	
教科等：特別活動	
取組名：SNS との「つきあい方」 （資料「あなたならどうする？」兵庫県中学生用人権教育資料『きらめき』令和5年度版）	
対 象：2年生	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット上の誹謗中傷や不適切な投稿等に気付き、通報機能などの対処方法を知り、実際に技能面で対処できるようになる。 SNS 等インターネット上の方が、現実の生活よりもいじめや誹謗中傷を引き起こしやすい要因を考え、軽率な行動により自分が加害者になることや、他者を傷つける可能性があることをおさえ、自他を尊重する態度を育む。 「正義感」から「良いことをしている」と感じていることが、ときには他者を攻撃し、人権を侵害していることに気付かせ、インターネットとの上手な関わり方を考える。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導案については『きらめき』に提示されているものをそのまま活用した。 普段の生活の中で SNS をどのように利用しているか確認する。 「あなたならどうする？」に提示された複数の事例について、問題点があるかどうか、自らの考えをまとめる。 その後、班の生徒同士で意見交流を行い（ペアワーク・コミュニケーション）、問題点とその理由について共通理解をはかる。 さらに、それぞれの事例に対して、本来どのように行動すべきだったかを、個人で考え、班の生徒と意見交流を行い（ペアワーク・コミュニケーション）、考えを深める。 	
ウ 連携先：兵庫県警察サイバー情報発信室・家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 県警察から講師を迎え、SNS の使い方についての講演を聴講する。 三者懇談等で、SNS やスマートフォンの使い方について保護者に注意喚起を行う。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの考えをまとめ他者に伝えることで、コミュニケーション能力の育成を図る。 ペアワークやグループ対話、クラスでの意見の共有など、相手の考えや意見を聞き、受け止め、自分の考えをさらに深める機会を設ける。 日常生活場面でも、生徒間、生徒教師間で相手の立場や考えを尊重したコミュニケーションがとられているか、互いに意識し合う。 	
<p>カ 評価の方法</p> <p>ワークシート、感想</p>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS の正しい活用方法について考えを深めることができた。 事例に応じて自ら考えることができた。 他の生徒と積極的にコミュニケーションをとり、他者の考えに触れ、自らの視野を広げることができた。 	
<p>ク 課題</p> <p>教材に対して理解は深まったが、日常生活の場面で、同じような場面に遭遇した場合、今回学習したようにふるまえるか、実際に行動がとれるかは今後の課題であると考えられる。</p>	